

に近況報告や同窓会に望むことなど自由に発言してもらう時間を設けました。ガイド業をしているがコロナでまったく外国人観光客が来日せずこの2年仕事がなくなつたとか昨年母が亡くなつたが葬儀、一周忌はコロナで何かと不自由だつたといつた話や母校支援のため個人的に法学部の特殊講義「賢人会議」へ同窓生講師を紹介してきたが今春、信頼関係を築いてきた担当の先生が退官したことにより依頼が来なくなつたなどいろいろな発言がありました。

最後に記念撮影をして閉会となりました。



副支部長
石井 正一
会計担当
（昭和48年経済卒）

**令和3年度会計収支報告、
令和4年度事業予算案
及び会費納入のお願い**

●令和4年度事業計画（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

令和4年度事業計画（令和4年4月1日～令和5年3月31日）	
〔令和4年〕	
4月20日	第1回理事会
5月中旬	常任理事会（議題：総会準備）
6月中旬	第2回理事会（メール開催／議題：役員改選について）
6月25日	第22回首都圏支部定期総会 (場所：福田リニューアル株式会社本社会議室)
9月下旬	青松36号発行
10月中旬	常任理事会（第3回理事会準備）
10月下旬	首都圏五十嵐会
11月中旬	第3回理事会
11月下旬	第19回青松芝楽会
〔令和5年〕	
1月中旬	若手交流会
1月下旬	常任理事会（令和5年度予算と活動計画）
3月中旬	常任理事会（令和5年度第1回理事会準備）
〔定期行事〕	
①青松ウォーキング	は年4回程度隨時行う
②例年5月開催の青松芝楽会	は行わない
③毎月5日同窓会通信を配信	

送に切り替えたことで約9万円の削減を図つたことによるものであります。

収入については、年会費収入が、174,000円となりました。令和2年度は、296,000円の年会費収入がありましたが、支部会報の発行が1回だつたことで会員の皆様にお願いしますが、支部会報の発行が1回だつたので、大きな減少であります。しかしながら、新型コロナの感染が終息しない中、会費納入をしていただいた会員の皆様に、厚く御礼を申し上げます。

事業計画に沿つた予算を策定しました。年会費収入は、昨年度と同額の収入を見込みましたが、既に今期は、7月23日迄で178,042円の会費納入をいただいております。又、今期は昨年度の繰越金が相当程度残っておりますので、本部助成金はありません。支出では、支部会報の発行を昨年同様1回としており、会報発送にあたりました。今年度は年次総会をオンライン方式と会場での参加方式で開催しております。これは、今後の新型コロナの感染状況によります。同窓会事業の発展には、会員に沿つた予算を計上しております。同士の横のつながりが不可欠で

新潟大学人文・法・経済学部同窓会首都圏支部

●令和3年度会計収支報告（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

《収入の部》			
	決算額	摘要	予算額
前年度繰越金	888,245		888,245
年会費収入	174,000	172人	250,000
総会参加費		中止	
理事会参加費		中止	
本部助成金	1,200,000		1,200,000
預金利子等	4		
合計	2,262,249		2,338,245

《支出の部》

項目	決算額	摘要	予算額
支部会報発行費	394,976		780,000
年次総会関係費			
理事会関係費			
若手組織化・同好会等事業費		240,000	
常任理事会等打合会費	13,800		70,000
事務経費他	61,127		70,000
同窓会通信充実費	6,096		100,000
次期繰越金	1,786,250		
合計	2,262,249		1,260,000

●令和4年度事業予算（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

《収入の部》		
項目	予算	摘要
前年度繰越金	1,786,250	
本部助成金	0	
年会費収入	200,000	
利息	2	
合計	1,986,252	

《支出の部》

項目	予算	摘要
支部会報発行費	430,000	印刷 110,000 発送費 220,000 その他 100,000
年次総会関係費	350,000	印刷物発送費 220,000 会場室料 34,000 その他 96,000
理事会関係費	192,000	2回開催 会場室料 22,000、交通費 120,000 その他 50,000
若手組織化・同好会事業費	100,000	ウォーキング 25,000 芝楽会 25,000 若手組織化 50,000
常任理事会等打合せ費	70,000	4回開催
同窓会通信充実費	100,000	前年同額
事務経費等	70,000	前年同額
次期繰越金	674,252	
合計	1,986,252	

あり、そのため2年間休止状態に
あつた同好会事業、若手の参
加を呼び掛ける若手組織化事業
も復活させる目的で予算を計上
しております。

同窓会通信充実費として、今
年度も計上しておりますが、イ
ンターネットを介した会員同士

3 首都圏支部の会費納入のお

昨年度は、会報の年1回の発行で振込機会が減少し、会費収入の減少を来しましたが、今年度は支部総会のご案内に際し、払込取扱票を送らせていただき、多くの会員の皆様からすでにたくさんのお会費納入を頂いておりました。厚く御礼を申し上げます。

今回支部会報の発行に際し、再度払込取扱票を同封させていただきました。今年度の会費をまだ納入されていない会員の皆様につきましては、ぜひ納入頂けますようお願い申し上げます。

総会をハイブリッドで開催してみて



事務局長
成田 浩
(昭和58年経済卒)

この度コロナ禍での総会を開催するため、初めて会場とウェブ

同郷の増田前支部長に頼まれ
よく分からぬまま事務局長になり
気がつけば8年経つてしま
した。同窓会の役割は何かとい
う問題について理事会でも何度か
議論しました。総会、同好会を機に同窓生が集まつて懇談する
だけで十分意義があるという

意見がある一方、それだけでは存在意義がない、大学のため後輩のため何かやるべきだとう意見がありました。

ただ現実の問題としてどのようないい理念で活動するにせよその手を見つけるのに大変苦労しているのが実情です。70歳を

A portrait of Shigeo Ishii, a man with glasses and a suit, with his name written vertically next to it.

会計就任挨拶



会計就任挨拶

同郷の増田前支部長に頼まれ
よく分からぬまま事務局長に
なり気がつけば8年経つてしま
した。同窓会の役割は何かとい
う問題について理事会でも何度
か議論しました。総会、同好会
を機に同窓生が集まって懇談す
るだけで十分意義があるという
意見がある一方、それだけでは
存在意義がない、大学のため、
後輩のため何かやるべきだとい
う意見がありました。

ただ現実の問題としてどのよ
うな理念で活動するにせよそ
の手を見つけるのに大変苦労
しているのが実情です。70歳を

この度、会計担当に就任しま
した石井でございます。

長年、会計業務を遂行されま
した堀さんの後任として、確実

総会をハイブリッドで
開催してみて

事務局長
成田 浩
(昭和58年経済卒)

この度コロナ禍での総会を開催
するために、初めて会場とウェブ
で連携してみた

会計就任挨拶

石井 正一 (昭和48年経済卒)


退任の挨拶
山崎彌代一
(昭和44年経済卒)

すが、お受けした以上は、当面
は山崎さんのご指導も頂きながら皆さん
に迷惑をかけることのないよう事務局の仕事をこなして
いく所存です。

う何卒宜しくお願ひいたします。
す。

双方のいわゆるハイブリッド開催を実施いたしました。

後は環境の整った会場を探す問題は残りますが。コロナ禍の行く末は予断を許しませんが、アフターコロナとなつても、もつと多くの会員が気楽に参加していただけるようハイブリッド開催を当面は継続していくよう検討していくかと思います。

今年2月の休日に散歩をしていた時、山崎前事務局長から空然携帯に電話があり「もう事務局長を8年もやつていて限界だからあとはよろしく頼む」との切実な声にさすがにお断りすることが出来ませんでした。そうは言いましても私は現在会社の代表をしており、果たして傍まらかなど心配しておらず

加澤支部長、石井副支部長をお呼びして、新任の岡副支部長と力を合わせて、同窓会の更なる充実に向けて微力ではありますが頑張つてまいります。

A black and white photograph showing a group of approximately 20 people in a meeting room. They are seated around a long conference table covered with papers and electronic equipment. In the background, a large screen displays a video feed of a man speaking, suggesting a video conference is taking place. The room has fluorescent lighting and a chalkboard or poster on the wall.

事務局長就任挨拶



成田 浩
(四)

周長就任挨拶
成田 浩（昭和58年経済卒）

過ぎてなおフルタイム勤務といふ人が珍しくありません。現當任理事会メンバーの大半もフルタイム勤務のためなかなか同空会活動に手が回りません。若手組織化担当副支部長は空席のま

ます。このように厳しい状況ですが、平成卒の世代が副支部長や会計監事に就任しました。新しい風が吹くのではないかと期待しています。

な会計管理を行ないたいと考えておりますが、現在就任しております仕事の関係で、会計業務に支障を来す恐れがあります。この様な私の状況に鑑み、加澤支部長を始め役員の皆様方や堀さんのご配慮にて、1年間は、前任の堀さんから実務を補助して戴けることになりました。

堀さんを始めとする皆様方に大変なご迷惑を、お掛けしますことを、就任に際しまして改め

て深くお詫びを申し上げます。コロナ禍の影響で、同窓会報活動も相当に制限されおり、会計業務も会員の皆様方からの会費納入管理が大きな業務となりますが、適切な管理を目指したいと考えております。

是非とも皆様方からのご協力を戴きながら、堀さんと共に会計業務を行なつて参りますので、ご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

みんなの広場



Zoomで総会に参加して

— 賢人会議へ期待 —

富田 幸男

(平成6年法卒)

ここ数年機会を窺つておりますがなかなか出席する勇気が出ず、このたびズーム参加であればと奮起し出席させて頂きました。

初のオンライン試行のうえ役員一新という大変な中、昨年の会報で同窓生でもある愚妻の寄稿を掲載して頂いたお札に重ね、このたび温かく受け入れて頂きましたことまずはこの場を借りまして厚く御礼申し上げます。

さて総会では、法学部の目玉講義である賢人会議の話で盛り上がりましたが、私は平成四年の本講受講一期生でした。当講

は、当時法曹界から本学に転身された竜壽、水谷両教授、憲法の山下教授らが音頭をとり、東京と比べて地味で保身的な新大

生に刺激を与えると名打つて広く門戸を開いていましたので、人文学部や経済学部の皆様の中にも受講された方がいらっしゃると思います。講師は新潟地検事正を含む法曹三者や新潟県警本部長等キヤリア公務員、韓国総領事、鳥跨ぎ米をコシヒカリに育て上げた技術者など多彩として活躍される平山征夫日本銀行新潟支店長の講義はバブル

ころです。

卒業後はとある官庁に奉職し、故寺尾正大先輩の熏陶を受けた一人でもあるところ、古い表現で官憲と呼ばれる取締りを主体とする職種においては、正義感だけではなくガラスの天井にぶち当たるのを多くが経験するのです。ギリギリ卒業だった私が語る資格もないのですが、おそらく賢人会議も元來法曹希望者を増やすことが第一目標だったはずで、今回の総会でも「すぐ成績が表れにくい法曹職は学生から敬遠される」というご意

メールマガジンを 発行しています

首都圏支部では、毎月5日ごろにメールマガジンを発行しています。主な内容は次のとおりです。

★首都圏支部からの

★新大のHPや
Facebookより

★活躍する同窓生のご紹介
★今どきの新潟の話題

配信アドレス：jhk3stknku@yahoo.co.jp

の構造からマクロ経済まで分かれやすく大変刺激を受けた記憶があります。発起に携われた上記先生方は、賢人会議に「変人会議」と韻を踏ませ緊張を解き（先生方の個性をご存じの方は思わず吹き出されるのではないかでしょうか）、今思えば予測される学生からの非礼な質問に備えて入念な事前準備がなされていましたが、當時は知る由もなく飽くまで学生主体の自由で対等な議論の場は大変新鮮で、不真面目な私もこの講義だけは皆勤し今でも時折講師と話の内容が甦る時があります。講義の性質上連続二コマを費やすため単位取得は非効率なはずですが、最近の新潟発行の青松にも人気講義として掲載され、爾来三十年にも及ぶ講義継続を頼もしと思つてゐるところです。

卒業後はとある官庁に奉職し、故寺尾正大先輩の熏陶を受けた一人でもあるところ、古い表現で官憲と呼ばれる取締りを主体とする職種においては、正義感だけではなくガラスの天井にぶち当たるのを多くが経験するのです。ギリギリ卒業だった私が語る資格もないのですが、おそらく賢人会議も元來法曹希望者を増やすことが第一目標だったはずで、今回の総会でも「すぐ成績が表れにくい法曹職は学生から敬遠される」というご意見やご希望、会員の皆さんにお知らせしたい情報や皆さんの近況報告などがありましたら、是非このアドレスまでお寄せください。（編集委員 小山武良 平成5年法卒）

編集後記

見に成程と頷く一方「そもそも学生のレベルが低い」のご指摘が実は現実に近いと思われ、この意見やご希望、会員の皆さんにお知らせしたい情報や皆さんの近況報告などがありましたら、是非このアドレスまでお寄せください。（編集委員 小山武良 平成5年法卒）

今年は6月のうちに梅雨が明けました。これは関東甲信地方では統計上最も早い異例の梅雨明けでした。そしてその前後から連日の猛暑日でした。このため従来からのコロナ感染拡大防止に加えて熱中症予防の両立に戸惑いを感じた方も多いと思いります。体温を超す猛暑、ゲリラ豪雨、線状降水帯といった気象は30年前では考えられませんでした。これから先は一体どうなるのでしょうか。

総会報告でもご紹介いただきましたが、この度副支部長広報を担当することになりました。2月頃より行つていた首都圏支部のメールマガジンの編集作業に加えて、今回から青松の作成・編集から発送までをハンドリングすることになりました。このよううに無事形になり安堵しております。コロナ禍で活動の幅が狭くなっている今、同窓生の情報が流れでこなくなっていますので、皆さんからの発信を心よりお待ちしております。（岡小夜子 平成4年人文卒）